

## 令和4年度前期 遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマンド配信)	ハイフレックス型授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
1	前期	選択	1	文学の世界	*松本		○		8	平常点50% (小テスト・ミニツツペーパー) / 期末試験50%	変更なし
1	前期	選択	1	歴史と社会	*眞杉		○		8	定期試験60%、平常点40% (小テスト、コミュニケーションペーパー)	変更なし
1	前期	選択	1	地球環境論	*河野		○		8	授業態度及び講義時に不定期に実施する小レポート(30%)、レポート課題(70%)	変更なし
1	前期	選択	1	政治と社会	*北村		○		8	定期試験70%、平常点30%(レポート)	授業貢献度 30% (課題プリント、コメントシートの提出) 期末レポート 70%
1	前期	選択	1	基礎心理学	*中田		○		8	講義内課題・講義後の課題 (60%)、記述式のレポート (40%) により評価します。 代筆および剽窃に関与した人は全員、0点とします。	変更なし
1	前期	選択	1	法と社会	*謝		○		8	平常点 (コメントシート) (40%)、中間レポート・期末レポート (各1回: 60%)。なお、授業中のコメントシートの代筆は認めません。	変更なし
1	前期	選択	1	経済の世界	*西村		○		8	主にレスポンスシートの提出による平常の貢献20%、期末試験80%。	毎回の授業後に課す課題 (100%) ・前半6週分の課題: 60% (10%×6回分) ・後半2週分の課題: 40% (20%×2回分)
1	前期	選択	1	数理論理学	永田		○		8	リアクションペーパー50%とレポート課題50%で評価する。	授業内課題50%と期末レポート課題50%で評価する。
1	前期	必修	1	情報科学演習	(薬学教務委員長)	○			12	毎回の練習課題(50%)、総合課題(50%)を総合して評価する。定期試験は行わない。	変更なし
1	前期	必修	1	アカデミックスキル	大桃・井上晴嗣・宮崎・佐藤卓史・竹本・長谷井・河合・倉田	○			8	各講に提出を求める振り返りシートの内容 (50%)、グループワークのピア評価 (15%)、プレゼンテーションのピア評価 (15%)、プレゼンテーションの教員評価 (20%) により評価する。	変更なし
1	前期	必修	1	身体運動科学	当麻			○	8	定期試験50%、平常点50% (レポート30%、小テスト20%)	変更なし
1	前期	必修	1	スポーツ・運動1	当麻・*橋口・*宮田・*門川	○			-	身体活動量の確保、技能の向上(試合を滞ることなく進行できる基本的な技能) (50%)、コミュニケーションの度合い、マナー、礼節の実践 (50%)	変更なし
1	前期	必修	1	物理学1	竹本			○	8	定期試験 (70%) とレポートまたは小テスト8回 (30%) により評価します。	変更なし
1	前期	必修	2	化学	大桃・山田・尹・箕浦・浅野・平田雅彦・山沖・藤嶽	○			15	定期試験結果 (再試験においては再試験結果) (80%)、小テスト等の試験結果 (20%) により評価する。	変更なし
1	前期	必修	1	生物学	藤森			○	8	定期試験 (100%)	定期試験80%、講義後の確認課題20%で評価する。
1	前期	必修	2	数学1 (永田クラス)	永田	○			15	課題(レポート、リアクションペーパー)20%と小テスト(1回)及び定期試験80%で評価する。	課題(レポート、リアクションペーパー等)20%と小テスト(1回)及び定期試験80%で評価する。 (全授業がオンデマンド授業の場合は、課題20%と定期試験80%で評価する。)
1	前期	必修	2	数学1 (竹本クラス)	竹本	○			15	定期試験 (70%) とレポートまたは小テスト15回 (30%) により評価します。	変更なし
1	前期	必修	1	英語リスニング1 (田邊クラス)	田邊	○			12	中間テスト・期末テストの結果 (60%) と発表・積極的な発言 (40%) により評価する。	変更なし
1	前期	必修	1	英語リスニング1 (神前クラス)	*神前	○			12	期末テスト60%、平常点40% (授業内課題20%、学術用語小テスト20%)	変更なし
1	前期	必修	1	英語リスニング1 (田尾クラス)	*田尾	○			12	・ワークシートA①~④/B①~④/C①~③ (40%; 上記の目標①②に関連) ・プロジェクト1: 個人英語プレゼンテーション (30%; 上記の目標②③に関連) ・プロジェクト2: グループ英語プレゼンテーション (30%; 上記の目標②③に関連)	変更なし

# 令和4年度前期 遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマンド配信)	ハイフレックス型授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
1	前期	必修	1	英語リスニング1 (楠瀬クラス)	* 楠瀬	○			12	A. 授業での口頭発表などの活動30% (3点 x 12回 = 36点) B. ディクテーションテストおよびレポート合わせて70% (7点 x 12回 = 84点) (A + B) x 100/120で評価する。定期試験は実施しない。	変更なし
1	前期	必修	1	英語リーディング1 (田邊クラス)	田邊	○			12	中間テスト・期末テストの結果 (60%) と発表・積極的な発言 (40%) により評価する。	変更なし
1	前期	必修	1	英語リーディング1 (井上クラス)	* 井上径子	○			12	定期試験結果 (60%) 授業貢献度 (小テスト、予習、発表状況など) (40%) コロナの感染拡大状況によって、オンライン授業が全面的または部分的に導入された場合、定期試験を中止し、課題によって評価する可能性もある。	変更なし
1	前期	必修	1	英語リーディング1 (大神クラス)	* 大神	○			12	期末試験 (試験期間に行うペーパーテストの結果) : 50% 授業活動 (授業外学習と授業活動への取り組み状況を評価) : 50%	変更なし
1	前期	必修	1	英語リーディング1 (藤本クラス)	* 藤本幸治	○			12	レポート50%、定期テスト50%	変更なし
1	前期	選択必修	1	ドイツ語1	阪本	○			12	・授業への参加態度 (授業、アクティブ・ラーニングに臨む姿勢、宿題や小テストへの取り組み方) … 50% ・授業内試験 (筆記、音読) … 50%	変更なし
1	前期	選択必修	1	中国語1	* 陳	○			12	期末テスト結果 (30%)、小テスト (30%)、授業への参加度* (40%) により評価する。 *グループワークにおいて、グループの一員としてアクティビティに参加しているか。また発話の順番がまわってきた際に、積極的に発話しているか。	変更なし
1	前期	選択必修	1	ハングル1	* 李	○			12	小テスト60%、期末試験40%	変更なし
1	前期	必修	1	薬学入門	中村敏・大野・永井・藤森・天満・阪本・平野・角山			○	8	各回の講義に関連したレポートにより評価する (100%)。	変更なし
1	前期	必修	1	基礎有機化学	和田俊一・浦田・宇佐美・平野・山田・米山・平田佳之・林淳祐・葉山・安田			○	12	定期試験 (90%) と課題 (10%) により評価する。	変更なし
1	前期	必修	1	薬用植物学	谷口			○	12	定期試験結果 (85%)、復習課題 (10%) およびレポート (5%) により評価する。ただし、評価を受けるには定期試験の得点が60%以上であることが必須である。	変更なし
1	前期	必修	1	多職種連携論1-医療人マインド	中村敏明・矢野・佐藤・角山・加藤隆児・清水・小池・羽田・田中早織・田中智	○			8	提出課題 (レポート等) 80%、他学部学生との意見交換など受講態度20%	変更なし
1	通年	必修	1	早期体験学習	戸塚・中村敏明・井上薫・芝野・幸田・角山・加藤隆児・浅野・藤嶽・羽田・田中早織	○	○		-	施設見学・見学前後のSGD・発表会における態度30%、講義に関連したレポート等70%	変更なし
2	前期	選択	1	文学の世界	* 松本		○		8	平常点50% (小テスト・ミニツツペーパー) / 期末試験50%	変更なし
2	前期	選択	1	歴史と社会	* 眞杉		○		8	定期試験60%、平常点40% (小テスト、コミュニケーションペーパー)	変更なし
2	前期	選択	1	地球環境論	* 河野		○		8	授業態度及び講義時に不定期に実施する小レポート(30%)、レポート課題(70%)	変更なし
2	前期	選択	1	政治と社会	* 北村		○		8	定期試験70%、平常点30%(レポート)	授業貢献度 30% (課題プリント、コメントシートの提出) 期末レポート 70%
2	前期	選択	1	基礎心理学	* 中田		○		8	講義内課題・講義後の課題 (60%)、記述式のレポート (40%) により評価します。 代筆および剽窃に関与した人は全員、0点とします。	変更なし
2	前期	選択	1	法と社会	* 謝		○		8	平常点 (コメントシート) (40%)、中間レポート・期末レポート (各1回: 60%)。なお、授業中のコメントシートの代筆は認めません。	変更なし

# 令和4年度前期 遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマンド配信)	ハイフレックス型授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
2	前期	選択	1	経済の世界	*西村		○		8	主にレスポンスシートの提出による平常の貢献20%、期末試験80%。	毎回の授業後に課す課題 (100%) ・前半6過分の課題: 60% (10%×6回分) ・後半2過分の課題: 40% (20%×2回分)
2	前期	選択	1	数理論理学	永田					リアクションペーパー50%とレポート課題50%で評価する。	授業内課題50%と期末レポート課題50%で評価する。
2	前期	必修	1	英語スピーキング1 (天ヶ瀬クラス)	天ヶ瀬	○			12	薬学英語専門用語小テスト30%、筆記試験40%、英語暗唱 20%、提出課題 10%	変更なし
2	前期	必修	1	英語スピーキング1 (岩田クラス)	*岩田	○			12	1. Recording assignments 10% 2. Mini quizzes and lesson answers 30% 3. Essay assignment with pair presentation 30% 4. Final examination (vocabulary and listening comprehension) 30%	変更なし
2	前期	必修	1	英語スピーキング1 (Brothertonクラス)	*Brotherton	○			12	Evaluation will be in the form of attendance(25%), preparation given as homework(25%), assignments(25%) and class presentations(25%). (=100%)	変更なし
2	前期	必修	1	英語スピーキング1 (堀クラス)	*堀	○			12	小テスト (前週学習内容の確認小テスト、複数回授業をまとめて学習内容を確認する復習小テスト) 50%、毎週の授業のふりかえり (紙またはオンラインでの提出) 10%、スピーキングテスト (2回) 40%	変更なし
2	前期	必修	1	英語ライティング1 (スミスクラス)	スミス	○			12	課題提出 (30%)、小テスト (30%)、筆記試験 (40%)	変更なし
2	前期	必修	1	英語ライティング1 (Brothertonクラス)	*Brotherton	○			12	1. Class attendance 10% 2. Workbook assessments 10% 3. Homework and submissions 30% 4. Writing assignments 30%	変更なし
2	前期	必修	1	英語ライティング1 (堀クラス)	*堀	○			12	小テスト (前週学習内容の確認小テスト、複数回授業をまとめて学習内容を確認する復習小テスト) 60%、毎週の授業のふりかえり (紙またはオンラインでの提出) 10%、ライティング課題 (3回) 30%	変更なし
2	前期	必修	1	英語ライティング1 (楠瀬クラス)	*楠瀬	○			12	A. 授業での口頭発表などの活動30% (3点×12回=36点) B. レポート70% (7点×12回=84点) (A+B) × 100/120で評価する。定期試験は実施しない。	変更なし
2	前期	選択	1	医工薬連環科学	永井・○中野・*倉田	○			12	提示した課題に対するレポートの内容によって評価します (100%)。	変更なし
2	前期	必修	1	物理化学2	土井光暢			○	12	試験結果(100%)により評価する。	変更なし
2	前期	必修	2	分析化学2	佐藤卓史			○	15	定期試験(85%)、ポストテスト(15%)とする。	変更なし
2	前期	必修	1	生物無機化学	天満			○	8	定期試験 (80%) とレスポ演習 (20%) により評価する。	変更なし
2	前期	必修	2	有機化学2	宇佐美・浦田・平野・山田・和田俊一・米山・平田佳之・林淳祐・葉山・安田			○	15	定期試験結果 (90%) とレポート点 (10%) により評価する。	変更なし
2	前期	必修	2	生化学2	井上晴嗣			○	15	最終成績 (y) は、定期試験の成績 (x) に平常点 (a) を試験の点数に応じて一定の比率で加算した合計とする。ただし、平常点とはレスポやFormsを用いて毎回行う理解度チェックを含む課題である。y=x+(100-x)a/100。ただし、0≤x≤100、0≤a≤50。	変更なし
2	前期	必修	2	微生物学	駒野・宮本			○	15	定期試験 (80%) と各回の講義の後に実施する理解度確認テスト (20%) により評価する。	変更なし
2	前期	必修	2	機能形態学2	清水・大野			○	15	定期試験結果 (100%) により評価する。	変更なし
2	前期	必修	1	生薬学	芝野			○	12	定期試験結果 (70%)、課題レポート (20%)、観察会で提出したレポート (10%) により評価する。	変更なし
2	前期	必修	2	薬理学1	田和			○	15	定期試験結果 (100%) により評価する。	変更なし
2	前期	必修	2	薬物治療学1	加藤隆児・福森・山口・田中早織			○	15	講義後の小テスト (30%) および定期試験 (70%) の結果により評価する。	変更なし

## 令和4年度前期 遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマンド配信)	ハイフレックス型授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法(変更後)
2	前期	必修	1	分析化学実習	天満・大桃・箕浦・佐藤卓史・平田雅彦・藤嶽・近藤	○			-	レポート(40%)、筆記試験(40%)、および平常の実習態度(20%)とする。	変更なし
2	前期	必修	1	生物学実習	駒野・坂口・土屋・田中智・倉田	○			-	口頭試問：レポート：筆記試験 = 30：40：30の割合で評価する。 口頭試問による実習内容の理解度の評価を、毎実習後の質疑応答によって行う。	変更なし

## 令和4年度前期 遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマンド配信)	ブレンド型 授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法(変更後)
3	前期	必修	1	異文化言語演習1(スミスクラス)	スミス	○			12	小テスト10回(20%)、筆記試験(40%)、プレゼンテーション(30%)、課題提出(10%)	変更なし
3	前期	必修	1	異文化言語演習1(城下クラス)	城下	○			12	発表内容=60%[訳出]、演習へのコミットメント=40%[短文論述/医療専門用語テスト]。訳出・短文論述についてはその都度コメントして必要に応じて修正を求め、基準を満たせる内容になるよう指導する。	変更なし
3	前期	必修	1	異文化言語演習1(天ヶ瀬クラス)	天ヶ瀬	○			12	小テスト10回(20%) 筆記試験(40%) プレゼンテーション(30%) 課題提出(10%)	変更なし
3	前期	必修	1	異文化言語演習1(榎矢クラス)	*榎矢	○			12	授業での発表(70%)、授業の予習(30%)を元に、総合的に評価する。	変更なし
3	前期	必修	1	異文化言語演習1(伊藤クラス)	*伊藤	○			12	最終試験(60%)、プリント等の提出物および授業内の発表(40%)により評価する。	変更なし
3	前期	必修	1	異文化言語演習1(衛藤クラス)	*衛藤	○			12	小テスト30%、レポート30%、まとめの演習課題40%	変更なし
3	前期	必修	1	異文化言語演習1(中本クラス)	*中本	○			12	各自担当部分の発表(40%)、講義内における確認テストまたはレポート等の課題(40%)、医療用語小テスト(20%)	変更なし
3	前期	必修	1	異文化言語演習1(木村クラス)	*木村	○			12	毎回の課題提出…60%[提出課題の内容]、演習へのコミットメント=40%[訳出その他]。欠席は正当な理由のある、事前・事後の申し出のあったもののみ認める。	変更なし
3	前期	必修	1.5	有機化学4	浦田・宇佐美・平野・山田・和田俊一・米山・平田佳之・林淳祐・葉山・安田			○	12	定期試験結果(90%)および毎回の小テスト(10%)により評価します。	変更なし
3	前期	必修	1.5	免疫学	土屋			○	12	講義ごとの確認テスト30%定期試験70%により評価する。	変更なし
3	前期	必修	1.5	基礎漢方薬学	芝野			○	12	定期試験結果(85%)、レポート(15%)により評価する。	変更なし
3	前期	必修	1.5	衛生薬学2	佐久間			○	12	定期試験80%、ならびに適宜実施するレポート20%により評価する。	定期試験80%、ならびに毎回実施するForms課題20%により評価する。
3	前期	必修	1.5	衛生薬学3	奥平			○	12	定期試験100%で評価する。	変更なし
3	前期	必修	1.5	ゲノム医科学	宮本			○	12	定期試験では、問題(80%)と受講態度(20%)により評価する。受講態度は、理解度確認テストによって評価する。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により変更する可能性があるが、その際、可能な限り早急に提示する。	変更なし
3	前期	必修	1.5	応用分析学	佐藤卓史			○	12	定期試験85%、ポストテスト15%	変更なし
3	前期	必修	1.5	物理薬剤学	門田・内山			○	12	最低限の出席(全授業の2/3以上)は試験を受ける上で必修。定期試験により評価を行う(100%)。	変更なし
3	前期	必修	1.5	薬理学3	大野・清水			○	12	定期試験結果(100%)により評価する。	変更なし
3	前期	必修	1.5	生物薬剤学2	本橋			○	12	定期試験結果(100%)により評価する。ただし授業の一部を遠隔講義で実施する場合には40%を上限に講義における課題により評価し、その場合残りを定期試験により評価する。	変更なし
3	前期	必修	1.5	薬物治療学3	福森・幸田・柳田			○	12	講義後の小テスト(30%)および定期試験(70%)の結果により評価する。	変更なし
3	前期	必修	1	医薬品情報学	角山・中村敏明			○	8	授業中に実施する個人課題(Forms等によるミニテスト含む)40%、定期試験60%により評価する。	変更なし
3	前期	必修	1.5	生命医療倫理	阪本・中村敏明・矢野・佐藤・角山・加藤隆児・清水・小池・羽田・田中早織・田中智			○	12	・授業への参加態度(授業に主体的・積極的に臨む姿勢、課題への取り組み)…80%・授業内試験(論述問題)…20%	変更なし
3	前期	必修	1	有機化学実習	浦田・宇佐美・和田俊一・米山・葉山	○			-	実習講義確認テスト(10点)、筆記試験(30点)、スペクトル解析試験(12点)および実習レポート(48点)の合計100点満点により評価する。	変更なし

## 令和4年度前期 遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマンド配信)	ブレンド型 授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
3	前期	必修	1	生物科学実習	福永・井上晴嗣・藤森・宮本・藤井忍・伊藤	○			-	レポート(30%)、実習試験(40%)、実験操作(15%)、討論(15%)、により評価する。	変更なし
4	前期	必修	1.5	コミュニケーション	岩永			○	12	定期試験50%、授業内で提示するレポート等の課題50%	変更なし
4	前期	必修	1	薬学英語	天ヶ瀬・スミス・*神前・*堀・*村木	○			12	ロールプレイ/プレゼンテーション 20%、Affix Quiz 30%、Forms課題 5%、授業内課題5%、筆記試験40%	変更なし
4	前期	必修	1.5	臨床感染症学	駒野・○浮村	○			12	講義終了後各講義で実施した小テストまたはレポート(20%)と定期試験(80%)により評価する。	変更なし
4	前期	選択	1	生物物理化学	友尾		○		8	定期試験(100%)の成績により評価する。	変更なし
4	前期	必修	1.5	医薬品化学2	平野			○	12	定期試験90%、講義中の課題10%で評価する。	変更なし
4	前期	必修	0.5	薬局方総論	戸塚			○	5	最低限の出席(全授業の2/3以上)は試験を受ける上で必修。定期試験のみで成績は判定する(100%)。	定期試験のみで成績は判定する(100%)
4	前期	選択	0.5	先端分子医科学1	福永・坂口		○		5	各回の講義で提示するレポートによって評価する(20% x 5回)。	変更なし
4	前期	必修	1	臨床薬物動態学	宮崎・中村任			○	8	定期試験成績100%	変更なし
4	前期	必修	1.5	薬物治療学5	井尻・幸田			○	12	講義後の小テスト(30%)及び定期試験結果(70%)により評価する。	変更なし
4	前期	必修	1	医療薬剤学	中村任・岩永			○	8	到達目標について、定期試験(100%)を実施し、到達度を検定する。	変更なし
4	前期	選択	1	医薬品安全性学	河合		○		8	毎回の講義で実施する小テスト(課題)が60%、期末課題が40%により成績評価する。	変更なし
4	前期	必修	1	医薬品情報演習	角山・中村敏明	○			8	グループ演習・発表での取り組み姿勢(評価表に基づく相互評価等)15%、グループ演習での成果物(パワーポイント等)25%、個人課題(提出状況、内容、Formsによる基礎知識の確認を含む)60%により評価する。グループ演習では、「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」のルーブリックを評価指標の1つとして利用する。	変更なし
4	前期	選択	0.5	臨床栄養学	○瀧谷		○		5	定期試験結果(80%)と小テスト(20%)により評価する。	変更なし
4	前期	選択	1	病態・薬物治療学演習	福森・駒野・矢野・井尻・幸田・細畑・加藤隆児・山口・柳田	○			8	各グループ内でのSGDにおいて、担当教員が、学生ごと、及び、グループごとに評価する。さらに最後の3回は全員が集合して、グループごとにプレゼンテーションを行うが、参加した教員全員が、各グループ及び各学生に評価点を付け、平均値を出す。SGDでの個人に対する評価点(30点満点)、グループに対する評価点(20点満点)、全体会でのグループに対する評価平均点(30点満点)、各学生に対する評価平均点(20点満点)の総計を各学生の評価点とする。SGDで各教員がつける評価点に関しては、それぞれのグループ間で不平等が生じないように、教員間で評価基準を申し合わせることをとする。	変更なし
4	前期	必修	1	医療制度	城下			○	8	定期試験による評価(70%)と講義中の確認テスト(30%)の評価を合算して最終的な評価とする。細かな内訳は講義中に示す。小テストには授業への質問・意見を含み、基本的に毎回の授業で、前回の質問・意見についてリプライする。	変更なし
4	前期	必修	1.5	薬事関連法・制度	恩田			○	12	定期試験結果(80%)と各講義終了時に行う確認テスト(20%)により評価する。	変更なし
4	前期	選択	0.5	レギュラトリーサイエンス	奥平		○		5	定期試験結果(75%)と、講義中に実施する小テスト(25%)により評価する。	変更なし

## 令和4年度前期 遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマンド配信)	ブレンド型 授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
4	前期	必修	3	臨床導入学習 1	岩永・中村任・中村敏明・恩田・矢野・金・井上薫・神林・和田恭一・栗原・角山・細畑・津山・羽田・庄司	○			-	学習評価表(態度に関する項目を含む)に基づいた評価(80%)、小テスト(20%)の割合で、主として薬剤の調製に関する項目(D項目)、および主として薬剤の調製以外の薬剤師業務に関する項目(C項目)についてそれぞれ評価し、最終的に合算したものを最終評価とする。	変更なし
4	前期	必修	2	統合薬学演習	矢野・中村敏明・土井・浦田・大野・戸塚・永井・岩永・中村任・藤森・天満・平野・福森	-	-	-	-	レポートの内容60%(発展課題に関する考察、演習後の省察)、グループワークの成果物25%(基本課題10%、EBM演習5%、発展課題10%)、グループワークへの取り組み姿勢(コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、グループワークへの貢献度について、学生による相互評価)15%	変更なし
4	前期	必修		特別演習・実習		○			-	配属した研究室における研究活動の中で様々な「技能」を身につけながら、得られた成果のまとめとして「研究発表」の実施と「卒業論文」の作成を行う。評価項目として、配属期間における研究活動に対する「態度」、この間に身につけた「知識・技能」、さらに「研究発表」および「卒業論文」を評価する。各評価項目について、それぞれ別に定めた5つの評価細目を5段階で評価する。「態度」、「技能」の評価項目では、評価が1点の細目がそれぞれ2つ以下であること、および、「研究発表」、「卒業論文」については、1点の評価の細目数が2名の教員の合計で4つ以下であること、を合格基準とする。なお、「研究発表」の評価に際しては、プレゼンテーション能力に関するルーブリック表を取り入れて実施する。	変更なし
5	前期	必修		統合薬学演習	矢野・中村敏明・土井・浦田・大野・戸塚・永井・岩永・中村任・藤森・天満・平野・福森	-	-	-	-	レポートの内容60%(発展課題に関する考察、演習後の省察)、グループワークの成果物25%(基本課題10%、EBM演習5%、発展課題10%)、グループワークへの取り組み姿勢(コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、グループワークへの貢献度について、学生による相互評価)15%	変更なし
5	通年	必修	10	病院実務実習	中村敏明・福永・中村任・矢野・芝野・金・井上薫・神林・和田恭一・栗原・和田俊一・坂口・佐藤・角山・加藤隆児・津山・羽田	○			-	I.概略評価 指導薬剤師と実習生が、定期的(2~4週間毎を目安)に、概略評価表を基に評価を行い、実習の振り返りを行うことで実習生がどの程度、何が成長したか評価する。 II.実務実習記録(日誌・レポート)による評価 実習生は、毎日の日誌に自分がその日学習した内容、体験した事例、修得した能力等を簡潔に記録して指導薬剤師、教員等の指導者に提示する。指導者は、その日誌の報告で実習生の実習の進捗状況を確認するとともに、実習についてフィードバックを行う。実習生は、指導者からのアドバイスを受けて薬剤師として求められる臨床能力の成長を確認する。 III.合否に関わる成績の決定 大学では、実務実習記録に基づく評価60%、指導薬剤師による評価30%、到達度評価10%という割合で、総合評価を行う。	変更なし

# 令和4年度前期 遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマンド配信)	ブレンド型 授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
5	通年	必修	10	薬局実務実習	中村敏明・福永・中村任・矢野・芝野・金・井上薫・神林・和田恭一・栗原・和田俊一・坂口・佐藤・角山・加藤隆児・津山・羽田	○			-	<p>I.概略評価 指導薬剤師と実習生が、定期的(2~4週間毎を目安)に、概略評価表を基に評価を行い、実習の振り返りを行うことで実習生がどの程度、何が成長したか評価する。</p> <p>II.実務実習(日誌・レポート)による評価 実習生は、自分がその日学習した内容、体験した事例、修得した能力等を実務実習記録(日誌・レポート)に毎日簡潔に記録し、指導薬剤師及び教員等の指導者に提示する。指導者は、提出された当該記録の内容などに基づき、実習の進捗状況を確認するとともに、適宜フィードバックを行う。実習生は、指導者からのアドバイスを受けて薬剤師として求められる臨床能力を自覚し、自己成長の度合いを省察する。</p> <p>III.合否に関わる成績の決定 大学では、実務実習記録による評価50%、学生との懇談内容10%、指導薬剤師による評価30%、学生のルーブリック10%という割合で、総合評価を行う。</p>	変更なし
5	通年	必修		特別演習・実習		○			-	<p>配属した研究室における研究活動の中で様々な「技能」を身につけながら、得られた成果のまとめとして「研究発表」の実施と「卒業論文」の作成を行う。評価項目として、配属期間における研究活動に対する「態度」、この間に身につけた「知識・技能」、さらに「研究発表」および「卒業論文」を評価する。各評価項目について、それぞれ別に定めた5つの評価細目を5段階で評価する。「態度」、「技能」の評価項目では、評価が1点の細目がそれぞれ2つ以下であること、および、「研究発表」、「卒業論文」については、1点の評価の細目数が2名の教員の合計で4つ以下であること、を合格基準とする。なお、「研究発表」の評価に際しては、プレゼンテーション能力に関するルーブリック表を取り入れて実施する。</p>	変更なし
6	前期	必修	1	薬局方総論	戸塚・芝野・山口			○	8	最低限の出席(全授業の2/3以上)は試験を受ける上で必修。定期試験のみで成績は判定し(100%)、担当教員3人の各々の範囲(戸塚50%、芝野25%、山口25%)の得点配分で定期試験を行う。	定期試験のみで成績は判定し(100%)、担当教員3人の各々の範囲(戸塚50%、芝野25%、山口25%)の得点配分で定期試験を行う。
6	前期	選択	0.5	先端分子医科学1	福永・坂口		○		5	各回の講義で提示するレポートによって評価する(20% x 5回)。	変更なし
6	前期	選択	0.5	先端分子医科学2	藤森・駒野・土屋・小池		○		5	課題の提出状況、内容により評価する(100%)。課題は各講義の	変更なし
6	前期	選択	0.5	先端分子医科学3	駒野・平野		○		5	各講師が指示する課題レポート(100%)を総合的に評価する。	変更なし
6	前期	自由	0.5	医薬看融合ゼミ	矢野・中村敏明・佐藤・角山・加藤・清水・	—	—	—	5	レポート60%、受講態度40%	変更なし
6	前期	選択	0.5	アドバンスト薬物治療学2	井尻・福森・加藤隆児		○		5	定期試験は行わない。	変更なし
6	前期	選択	0.5	アドバンスト薬物治療学3	井尻・岩永・天満・平野・山田		○		5	定期試験は行わない。	変更なし
6	前期	必修	1	医薬品情報評価学	井尻・恩田			○	8	<p>定期試験は行わない。 1コマで10点の小テストを行い、10コマで合計点が100点となるようにして評価する。評価点の寄与率は100%とする。</p> <p>※なお、状況によりオンライン・オンデマンド(遠隔)講義となった場合、各配信講義後に小テストを行う。</p>	変更なし

## 令和4年度前期 遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマンド配信)	ブレンド型 授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
6	前期	選択	0.5	医療政策論	城下		○		5	定期試験による評価(70%)と講義中の確認テスト(30%)の評価を合算して最終的な評価とする。細かな内訳は講義中に示す。確認テストには授業への質問・意見を含み、基本的に毎回の授業で、前回の質問・意見についてリプライする。	変更なし
6	前期	選択	0.5	医療倫理論	阪本	○			5	・授業への参加態度(授業に積極的に臨む姿勢、課題への取り組み)…70% ・最初と最後の授業で行う自己評価と相互評価(ルーブリック)…30%	変更なし
6	前期	選択	0.5	医療情報学	*野崎	○			5	期末試験70%、授業態度30%	変更なし
6	前期	選択	0.5	漢方医学概論	芝野・○後山		○		5	定期試験結果(85%)、5回行う確認テスト(15%)により評価する。	変更なし
6	前期	選択	0.5	レギュラトリーサイエンス	奥平		○		5	定期試験結果(75%)と、講義中に実施する小テスト(25%)により評価する。	変更なし
6	前期	選択	0.5	創薬薬理学	大喜多・大野・清水・田和		○		5	定期試験結果(100%)により評価する。	変更なし
6	通年	必修	3	薬学総合演習	大喜多(薬剤師国家試験対策委員長)	—	—	—	—	定期試験の結果に基づいて評価を行う(100%)。	変更なし
6	通年	必修	18	特別演習・実習		○			—	配属した研究室における研究活動の中で様々な「技能」を身につけながら、得られた成果のまとめとして「研究発表」の実施と「卒業論文」の作成を行う。評価項目として、配属期間における研究活動に対する「態度」、この間に身につけた「知識・技能」、さらに「研究発表」および「卒業論文」を評価する。各評価項目について、それぞれ別に定めた5つの評価細目を5段階で評価する。「態度」、「技能」の評価項目では、評価が1点の細目がそれぞれ2つ以下であること、および、「研究発表」、「卒業論文」については、1点の評価の細目数が2名の教員の合計で4つ以下であること、を合格基準とする。なお、「研究発表」の評価に際しては、プレゼンテーション能力に関するルーブリック表を取り入れて実施する。	変更なし